

トピックス

・ユネスコが岡山大学ユネスコチェアの設置認可を更新

本学はユネスコから「岡山大学ユネスコチェア:持続可能な開発のための研究と教育」の設置認可の更新を受けました。認可期間は2015年4月から2019年3月までの4年間です。今後は、2015年以降のESD推進枠組みであるグローバル・アクション・プログラム(GAP)や日本政府、岡山市等によるGAPを踏まえた新たなESD推進策の動きを考慮しながら、ESDのさらなる促進に向けた教育研究活動を展開します。

参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/topix/topix_id348.html



・地方創生&学都シンポジウムを開催



学都モデルとしてストラスブールを研究している本学地域総合研究センターは5月15日、地方創生&学都シンポジウム「最新のフランスまちづくりを岡山の地方創生に活かす」を開催しました。

シンポジウムでは、日仏異文化マネジメントコンサルタントで、「ストラスブールのまちづくり」の著書でもあるヴァンソン藤井由実さんが基調講演。フランスを代表する環境都市として“地方創生”を実現してきたストラスブール市について、まちの

活性化を実現した取り組みや背景などを紹介しました。

このほか、同センターの三村聡教授、岩淵泰助教、高岡敦史・教育学研究科講師も発表。大学や、行政、企業の関係者、一般参加者ら約100人が聴講しました。

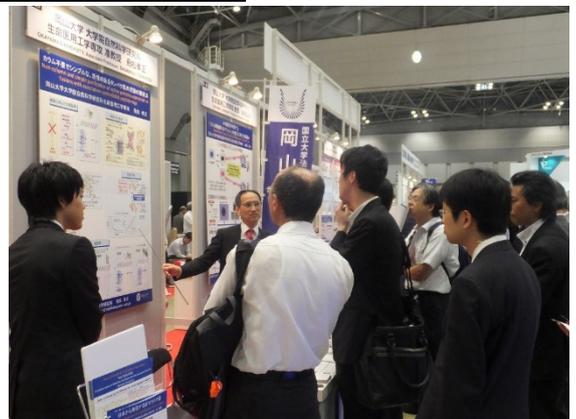
参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id4571.html

最近の大学の取組

・アジア最大のバイオ展「ライフサイエンス ワールド 2015」に出展

本学は5月13~15日、東京ビッグサイトで開催されたアジア最大のバイオ展/国際会議「ライフサイエンス ワールド 2015 (第12回アカデミックフォーラム)」に出展。医療、創薬、生命医用工学など、7件の最先端研究成果を展示・発表しました。

医歯薬学総合研究科の金恵淑准教授は「日本から発信する新しい抗マラリア薬」、自然科学研究科の飛松孝正准教授は「カラム不要でシンプルな活性のあるタンパク質の究極の精製法」をそれぞれ発表。会場内のパートナーング商談ルームでは、研究に興味を持った製薬企業や医療・医薬関係団体と、技術移転や共同研究の実施に向けて精力的に意見交換を行いました。



参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id4569.html

最近注目の研究

・時差ぼけ回復に關与する神経細胞を発見

自然科学研究科（理）時間生物学研究室の吉井大志准教授、ドイツのヴェルツブルク大学の国際共同研究グループは、キロシヨウジョウバエを用いて、時差ぼけ回復に關与する脳神経細胞を探索。約 14 個の神経細胞が時差ぼけの回復に重要であることを世界で初めて明らかにしました。本研究成果は、2015 年 4 月 15 日に米国の科学雑誌『Journal of Neuroscience』に掲載されました。

参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release_id298.html

・片頭痛：心臓の穴を閉じて頭痛を治す国内初の治療を開始

岡山大学病院循環器疾患集中治療部の赤木禎治准教授らのグループは、片頭痛患者に心臓の微小な穴（卵円孔）の開存が認められた場合、カテーテルを用いて卵円孔を閉鎖することで頭痛を治療するという国内初の治療を 6 月に開始します。本治療によって頭痛そのものが消失するなど、薬物治療とは別の新しい治療技術になる可能性があります。

参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release_id300.html

・光合成水分解触媒のモデル化合物の合成に成功—人工光合成開発へ前進—

自然科学研究科（理）の沈建仁教授（同大光合成研究センター長）、中国科学院化学研究所、ドイツベルリン自由大学の共同研究グループは、光合成水分解反応の触媒である Mn4CaO5 クラスタと類似のモデル化合物を人工的に合成することに成功しました。本研究成果は 5 月 8 日、米国の科学雑誌「Science」に掲載されました。

本研究成果は、天然の触媒の働きを詳細に研究するためのモデル化合物を提供すると同時に、人工光合成の実現に大きな一歩を前進させたものです。今回開発された合成化学的手法を改善し、モデル化合物をさらに発展させることで、太陽光による水の人工分解が実現し、クリーンで再生可能のエネルギー源としての水素燃料を製造することが可能になると大いに期待されます。

参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release_id293.html

学生の活躍

・漕艇部へ新艇「六花」 同部 OB・OG が寄贈

本学漕艇部は、同部 OB・OG でつくる旭水艇友会から昨年度末、新艇「六花（りっか）」を寄贈され、岡山市中区沖元にある漕艇部艇庫において進水式を行いました。

漕艇部は旧制第六高等学校（六高）時代から続いており、六高の意思を引き継ぐという意味が込められた「六花」。5 月 3 日から滋賀県立琵琶湖漕艇場で開催された朝日レガッタでむかえた初陣では、一般男子舵手つきフォアの部で 4 位入賞を果たしました。

参考 http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id4586.html



行事予定

- ・生命科学に取り組む異分野の融合と交流の推進 第 4 回スーパーコンピュータ「京」と生命科学
6 月 12 日（金） 創立五十周年記念館
- ・環境管理センター公開講演会「地球温暖化と気候変動が関わるリスク」
6 月 20 日（土） 大学院自然科学研究科棟 2 階 大講義室

岡山大学は、以下のページでも情報を発信しています

- ・岡山大学公式ホームページ <http://www.okayama-u.ac.jp/>
- ・岡山大学 Facebook ページ <https://www.facebook.com/OkayamaUniversity>
- ・岡山大学 Twitter https://twitter.com/okayama_uni
- ・岡山大学チャンネル <https://www.youtube.com/user/okayamaunivpr/videos>

【お問合せ先】 岡山大学広報・情報戦略室

Tel : 086-251-7292, 7293 Mail : www-adm@adm.okayama-u.ac.jp